

平和運動センター通信 原水禁ヒロシマニュース

- 発行：広島県平和運動センター
原水爆禁止広島県協議会（広島県原水禁）
 - 〒733-0013 広島市西区横川新町7-22 自治労会館 1階
 - Tel:082-503-5855 FAX:082-294-4555
 - E-mail:h-heiwa@chive.ocn.ne.jp
 - 広島県原水禁 ホームページ <http://www.hiroshimaken-gensuikin.org/>
 - ブログ：<http://kokoro2016.cocolog-nifty.com/shinkokoro/>
- ー子どもや孫たちに、戦争も核もない、美しい地球を！ー

No.244
2022年
10月号
(10月5日)

発行責任者
高橋克浩
(事務局長)

岸田政権を追い詰める声をあげよう

第210臨時国会が10月3日に開会しました。12月10日までの69日間、物価高による経済対策や安倍元首相の国葬問題、旧統一教会と自民党の関係など与野党の論戦が始まります。

国葬の問題点は様々に指摘されていますが、①法的根拠がないこと、②それにもかかわらず、国会での議論も同意もなく、内閣の独断で決定したこと、③本質的な問題として、個人崇拜につながりかねず、近代民主主義国家のあり方として問題ではないか、④さらには、これは私たちの主観と言えるかもしれませんが、前記の問題以前に、安倍元首相が「国葬」にふさわしいとは思えないということもあります。

安倍元首相は、2012年第二次安倍政権の誕生以来、議会制民主主義を蔑ろにしてきました。集团的自衛権の行使容認は国会を無視して閣議決定で押し通り、安保法制や特定秘密保護法など国民の賛否が二分する問題も、数の力で強行採決を繰り返してきました。意見の異なる者への圧力や恫喝、嘘や捏造・改ざんに文書破棄、都合の悪いことには真摯に答えない…など、挙げればきりがありません。

安倍政権を受け継いだ菅政権、そして岸田政権においても「聞く力」は看板倒れで、国葬問題にしても旧統一教会問題にしても、不都合な事案は調査せず、とても説明責任を果たしているとは言えません。

その結果が、支持率の低下に表われ、政権擁護の主張を繰り返してきたメディアの調査でさえ、不支持が支持を上回る世論調査結果になっています。

《今後の主な予定》

- 10月13日(木) 平和運動センター常任幹事会（平和運動センター）
- 10月21日(金) 県護憲幹事会（エコード広島）
- 10月27日(木) 第28回広島県平和運動センター総会（自治労会館3F）
- 10月28日(金) 狭山事件の再審を求める市民集会（東京・日比谷野音）
- 11月3日(祝) 平和といのちと人権を 11・3ヒロシマ憲法集会
(弁護士会館・自治労会館・福山みやび/他)
- 11月12～14日 第59回護憲大会（松山市）

働く者の賃金は変わらず、物価は日々高騰し、国民生活は汲々として格差は拡大するばかりです。金持ち優遇の制度は一向に変える兆しがありません。「所得と経済の両輪」で日本を立て直すと豪語しながら、具体的な政策も一切示されません。

一方では、ロシア軍によるウクライナ侵攻、台湾海峡での緊張の高まり、さらには朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射など、東アジアの危機の高まりを口実に、防衛費の大幅な増加や「核共有」論や「敵基地攻撃能力」の保持、そして、戦争のできる「憲法改悪」をもくろんでいます。

8月には被爆77周年原水爆禁止世界大会が3年ぶりに、コロナ禍前の通常の規模で開催され、広島大会には1,200人の参加をいただきました。

「被爆証言はどんな書籍を読むより戦争がいかに悲惨なものを教えてくれました」（徳島・30歳）。「この時期に、この場所広島で、いろいろなものを見たり聞いたりすることでしか感じられないことがあると思いました。本当に勉強になりました。参加できてよかったです」（北海道・27歳）。「被爆者の方の話を直接聞いたのは初めてでした。TVなどを通して知るのとは違い、その当時の状態や思いなどをより具体的に、強く感じることができました」（福岡・26歳）。…原水爆大会参加者アンケートより

被爆地を訪れ被爆体験を聴いたり、核廃絶への様々な活動に直接触れることは、大きな意義があることを改めて痛感しました。

核をめぐる情勢は、核兵器禁止条約成立の一方で、ロシアの核兵器使用が現実化されかねないウクライナの状況があり、「冷戦終結以降最も核の脅威が高まっている」とも言われます。また、NPT再検討会議も2回続けて最終文書の合意ができず、核兵器保有国に課せられている、核軍縮を「誠実に交渉する」との義務が果たされているとは言えません。そして日本でも、岸田首相が唐突に、原発の新設・再稼働を推進するエネルギー政策の転換を表明するなど、「核」をめぐる情勢は私たちの思う方向とは逆に動いています。

この間、コロナ禍の影響で、集会や行事が中止・延期され、十分な活動ができてきませんでした。感染状況が多少でも落ち着いてきている今、運動の原点の人権・平和・民主主義を守るために、したたかに・粘り強く根を張り巡らせてゆるぎない運動を構築し岸田政権を追い詰める声を上げましょう。

2022 平和といのちと人権を! 11・3ヒロシマ憲法集会

記念講演

旧統一教会と 自民党の闇

…テレビでは聞けない話

講師 **有田芳生** (ありた・よしぶ) さん



講師プロフィール
有田芳生 (ありた・よしぶ) さん
1952年京都府生まれ、立命館大卒。フリージャーナリストとして霊感療法、統一教会、オウム真理教による地下鉄サリン事件、拉致問題に取り組む。2010年、当時の民主党比例区で参議院議員初当選。3期目に挑んだ今年の参院選で惜しくも落選。安倍元首相銃撃事件直後から、統一教会と自民党の癒着について精力的に発信を続けている。

- 安倍晋三元首相の国葬を岸田文雄首相は強行しました。市民の多くが反対した大きな理由は、安倍氏と旧統一教会の深い関係です。自民党の改進黨案は旧統一教会の考えと奇妙に一致しています。9条改憲、ジェンダーフリーへの敵視、個人より家族を重視…。こんな改進黨案を私たちは許すことはできません。
- 安倍氏が進め、岸田首相も引き継ぐとする改進黨案に、統一教会がどんな影響を与えていたのか。自民党の選挙に統一教会はどうかかわっていたのか。日本の政治は曲げられていないのか。ジャーナリストとして国会議員として追及してきた有田さんにテレビでは聞けない話をたっぷり語っていただきます。

2022年 **11月3日** (憲法公布の日)

14時～16時

会場：広島弁護士会館&各地のオンライン会場

参加費：500円 (高校生以下・障がい者は無料)

主催：戦争させない・9条壊すな！
ヒロシマ総がかり行動実行委員会
場所：広島弁護士会館と
県内各地オンライン視聴の分散会場
分散会場にはZOOMでオンライン配信します

※広島弁護士会館/
広島市南区上八丁2-73

※他の会場は
別途お知らせします



連絡・問合せ先

730-0805 広島市中区十日市町1-5-5 明徳ビル5F

日本ジャーナリスト会議広島支部内 030-9060-1809 郵局

フェイスブックの検索はQRコードで

